

教育委員会だより

発行日 平成24年3月1日
 編集・発行 葉山町教育委員会教育総務課
 〒240-0012 三浦郡葉山町堀内2050-9
 TEL. 046(876)1111
 FAX. 046(876)1861

いそぎく

第239号



学校は様々な形の連携を通して教育活動の充実を図っています。今回は「連携」をテーマにお送りします。

「地域との連携」 葉山町教育研究所

葉山町教育研究所の役割に、学校と地域の仲立ちとなり、地域の教育力を学校の活動に生かしていただくことがあります。

今回は葉山小学校から「戦争体験のお話を聞く会」(六年生対象)と長柄小学校から「昔遊びの会」(一年生対象)の二つの行事について、地域と学校の仲立ちを依頼されました。行事の日程を調整したり、地域講師を学校までご案内したり、当日の内容を講師にお伝えしたりして、地域と学校がお互いに

よい関係で出会うことのお手伝いを行いました。



教育研究所にとっては、「昔遊びの会」の仲立ちは初めてのことであり、「戦争体験のお話を聞く会」については、まだ、二回目でしたので、改善、修正をする点が多々ありました。幸い、地域と学校の方々のご理解をいただき、教育効果をあげる行事が実施できたと思っております。

学校と地域の連携が常日頃大切であると言われており、各学校では、これまでも様々な活動を地域のお力を得ながら実施しております。子どもの元気な姿を通して、地域の交流が一層増えることは素晴らしいことと思います。学校の教育活動の流れと地域の方々の生活や行事の流れは、当然のことながら異なっております。また、連携を実施するにあたっての目的も両者がよく理解しておく必要があります。学校と地域はお隣同志であります。内情が分かりにくい場合、研究所が仲立ちとしてお役に立てると思えます。学校の感想を学校だよりの転載でお伝えいたします。

●「葉山小だより・第十八号・十二月十五日付」

十二月六日は葉山町にお住まいの九人の方がお見えになって、戦争中のことをお話しくださいました。九人の方々は四クラスに分かれ、更にクラス内で小グループに入っていたので、じっくりとお話を伺うことができました。子ども達は質問したり、感想を発表したりすることもでき、学習を一段と深めることができました。両日を通して、六年生は戦争中の暮らしや平和の大切さについて、心にしっかりとときざむことができました。

●「長柄小 学校だより・第十六号・十二月二十二日付」

今年で十三回目となる一年生のむかし遊び。十二月八日、九日の二日間、延べ四十六人も地域の方々が講師となつて、けん玉や羽根つきなど八種類の遊びを教えて下さいました。皆様の、孫と話すかのような柔和なお顔と子どもたちははじける笑顔が何ともほほえましい二日間でした。地域で生きていく子どもたちが一人でも二人でも地域の方と顔見知りになれば、それもまた有意義なことだと考えています。

◆ ◆
 地域との連携は、このほか、小学校の「米作り」や農業体験、中学校の地域の方々とのおふれあい活動や地域での体験活動など行っており、さまざまな場面で、お世話になっています。

《保育園との連携》

昨年の九月十六日(金)の三校時に葉山保育園の年長さんたちが葉山小学校を訪問し、四年生の子どもたちと一緒に音楽の授業を受けました。

この取り組みは、保育園と小学校の連携を図ることを目的として、数年前から音楽科の授業を通して進めています。

今回は四年生の子どもたちが自分たちが創作したお囃子を披露し、園児たちと一緒に演奏したり、踊ったりする授業を行いました。

この活動を通して年長の園児たちは明るく楽しい学校のイメージをもって、四月からの小学校生活を迎えられることとしましょう。



《小・中連携》

毎年、十二月に葉山中、南郷中それぞれの学区の小学校六年生が、中学校を訪問する行事があります。

この行事は中学校の生徒会の役員

にとつては最初の大きな行事の運営で、前日まで多くの時間をつかって準備をします。

当日は、中学校生活の様子を紹介した後、生徒会役員が六年生を引率して学校内を案内したり、部活動の様子を見学させたりしてくれました。

小学生にとつては、中学校は未知の世界で、部活は何に入ろうかな、先生はやさしいかな、など楽しみである半面、新たな環境への不安な気持ちもあるでしょう。この行事を通して、卒業間近の六年生が直接中学生とふれあい、

中学校の生活を知ることによって、不安が解消され、安心して中学校生活のスタートをきることができることとしましょう。

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

《保護者との連携》

一月十八日、葉山中学校では、マラソン大会が開催されました。学校から東伏見台の団地にあがっておりて学校までのコースです。沿道では保護者の方々が応援とともに、旗をもって車を止めるなど安全確保のために協力くださいました。

また、マラソン大会終了後は、保護者の方が子どもたちのために、温かい豚汁を用意してくださいました。

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆



「大津波警報発令」を想定した避難訓練

3・11の東日本大震災から一年が過ぎようとしています。海に近い葉山町としても津波の被害はひとごとではありません。

この一年、各学校において、災害時の避難の在り方について見直しながされ、それに伴い避難訓練の在り方も検討されてきました。

葉山小学校では一月二十四日に、「大地震発生後、大津波警報が発令された」という想定のもと、避難訓練が実施されました。

校庭に集合した後、東伏見台東公園に、二手に分かれて避難をしました。子どもたちは初めての津波の訓練に真剣な面持ちで行動し、避難開始後二十分以内に全員が避難し、整列して校長先生のお話をきき、避難訓練を終了しました。



【出品数】

学校名	絵画	書写等	立体	合計
葉山小	494	16	271	781
上山口小	84	40	37	161
長柄小	220	0	170	390
一色小	136	170	82	388
葉山中	215	175	61	451
南郷中	90	92	200	382
合計	1239	493	821	2553

平成二十四年一月二十六日(木)から二十九日(日)までの四日間、恒例の葉山町小・中学校作品展が開催されました。
主に立体作品は教育総合センターに、絵画・書写作品は福祉文化会館に展示され、どの作品も力作でした。
出品数、入場者数は表のとおりです。



葉山町小・中学校作品展



【福祉文化会館会場 入場者数】

日にち	児童・生徒	成人	合計
26日(木)	132	78	210
27日(金)	541	75	616
28日(土)	240	269	509
29日(日)	214	253	467
合計	1127	675	1802

【教育相談センター会場 入場者数】

日にち	児童・生徒	成人	合計
26日(木)	135	68	203
27日(金)	544	76	620
28日(土)	198	196	394
29日(日)	186	205	391
合計	1063	545	1608



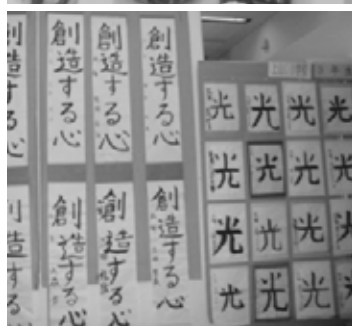
作品展は、葉山町内六校の作品を一堂に展示し、児童・生徒、町民及び一般の方々にみていただく事業です。児童・生徒がお互いのよさを認め合い、創作意欲の向上や豊かな情操の育成を目的としています。

作者の思いは様々ですが、作品をみた方々の思いも様々です。見学後に書いていただいた感想文の一部を紹介させていただきます。

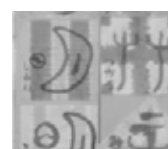
自分でも作ってみたい物がたくさんあった。早くつくりたいなあ。(小学生)

わたしもいつかすごいものをいっばいつくってみたいです。一ねんせい。(小学生)

私の作品がかざられていてうれしかった。やってみたい作品がいくつもあった。一人一人個性がでていて、おもしろいなと思った。中学生はさすが中学生だなあと感じました。(小学生)



感想



わたしとはちがう年の子の作品をみることができ、とてもよかったです。学年、学校でいろいろなちがうテーマだったのでとても楽しくみることができた。(中学生)

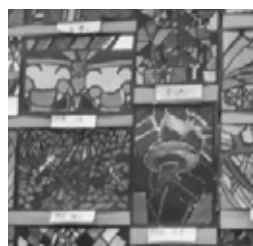
作品展には初めてきたけど、みんなの作品がみられて楽しく過ごせた。自分が下手だと思ってしまった。自分の知っている人や幼稚園が一緒だった人の作品もあってなぜか懐かしくなったりしました。私が個人的に思うことは、この葉山の作品展は人を懐かしい気持ちにしたり、感情が出せるのかも知れない。小学校でこんなことやったのかも思い出して自分の小学校の時の作品も今日帰ってみようと思った。他の中学校の人が何をしているのかが分かって、今日ここに来たのは正解だったと思う。(中学生)

すべての作品に心がこもっていると思いました。とくに中学生の作品は、中学生とあってとてもいいでした。わたしはが中学生になったらあんなにいい作品ができるのかと思いました。(小学生)

先行きが不透明な中、たくさんの色を使い表現されています。彼ら、彼女らの明るい未来を描き続けられるように、今の社会を創っていかなければいけませんね。勉強させられました。ありがとうございます。(一般)

皆さん、力作で見応えがありました。幼児向けのおもちゃは実際に使いたいと四歳の娘がいつています。どれもすばらしかったです。(一般)

これだけたくさんの子もたちの作品が並ぶとその個性の輝きでうれしくなっています。すばらしい企画ですね。美術を通してそれぞれの感覚が形になる・・・すばらしい機会だと思います。ありがとうございます。(一般)



感想文から、小・中の校種を越えてお互いのよさを感じ取り、中学生は小学校の作品を懐かしい思いでみていたり、小学生は中学校の作品をみてさらにすばらしい作品につながる創作意欲をもてたことがわかります。そして、いつも温かく葉山の子どもたちを見守ってください。いる町民の方々の思いがひしひしと感じられ、感謝の気持ちでいっぱいです。来年もまた、すばらしい作品が会場いっぱい展示されることでしょう。

